

お茶の間の議会情報誌

第123号

2021年(令和3年)
5月1日発行

議会通信 しんしのつ

Shinshinotsu Village Assembly Information



令和3年度一般会計予算、最初の入札が4月7日、保健センター訓練室で執行された。

コロナ禍の中、密を避け換気などに注意を払いながらの入札となったが、年度末までの維持管理や委託業務など、受託業者が決定した。

今後も、第3地区会館建設工事実施設計など、新規事業の入札が執行されていく。

第1回定例会

令和3年度予算を可決

予算審査特別委員会で審査

5人の議員から一般質問



ふかぼり
解決! 深掘 第4弾

令和3年

第1回 定例会

令和3年第1回村議会定例会が、3月10日から19日までの10日間の会期をもって招集されました。

初日は、村政及び教育行政執行方針のあと、補正予算や条例の制定改正など15件を審議した結果、全て原案のとおり可決し、2件の専決処分を承認しました。最終日には、追加の補正予算1件と予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計を原案のとおり可決しました。

また、5人の議員から一般質問を行いました。

定例会の 主な内容

補正予算

〔令和2度補正予算〕

◎一般会計(第12・13号)

歳出補正の主な内容

- ・石狩北部地区消防事務組合負担金

△1397万円

・財政調整基金積立金

△600万円

・ふるさと納税業務委託料

△740万円

・社会福祉施設新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援金

1000万円

・障害者介護・訓練等給付費

335万円

・保育所運営委託料

△300万円

・検診・検査業務委託料

△400万円

・道営土地改良事業負担金

1427万円

・指定管理者事業継続支援金

2000万円

- ・南団地建替事業建設工事

△741万円

- ・村道・公共施設除排雪業務委託料

1710万円

- ・学校情報機器回線等利用料

△200万円



観測史上1位となる降雪量を記録した12月中旬の市街地

〈今回の補正額〉

△5395万円

〈補正後の予算総額〉

39億7608万円

◎国民健康保険特別会計

歳出補正の主な内容

・共同電算処理手数料

△32万円

・健診・検査業務委託料

△147万円

〈今回の補正額〉

△245万円

〈補正後の予算総額〉

7億5700万円

◎農業集落排水事業特別会計

歳出補正の主な内容

・浄化センター汚泥処分料

△65万円

・浄化センター管理業務委託料

△33万円

〈今回の補正額〉

△165万円

〈補正後の予算総額〉

6535万円

◎介護保険特別会計

歳出補正の主な内容

・介護給付準備基金積立金

200万円

・特定入所者介護サービス費負担金

△200万円

・第1号通所事業負担金

△472万円

〈今回の補正額〉

△1169万円

〈補正後の予算総額〉

3億9320万円

◎後期高齢者医療特別会計

歳出補正の主な内容

・保険料等負担金

84万円

〈今回の補正額〉

43万円

〈補正後の予算総額〉

6450万円

条例制定

◎新篠津村議会議員及び新篠津村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法の改正により、本村においても選挙公営に關し必要な事項を定めるため、本条例を制定するものです。

◎新篠津村新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について

国の地方創生臨時交付金を、中小企業新型コロナウイルス感染症対策特別融資に係る利子補給費補助金に充てるため、本条例を制定するものです。

◎新篠津村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の制

定について

◎新篠津村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
関係法令の改正に伴い、本条例の全部を改正するものです。

条例改正

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
関係法令の改正に伴い、本条例を改正するものです。

◎新篠津村介護保険条例の一部を改正する条例について
新篠津村高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に併せるため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

関係法令の改正に伴い、本条例を改正するものです。

人事

◎人権擁護委員候補者の推薦について
前任者の退任に伴い、新たに清田里美氏（みのり）を候補者として推薦することの諮問に対し、「適任」と答申しました。

なお、任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間です。



清田 里美 氏

一般議案

◎指定管理者の指定について
新篠津村米乾燥調製施設に係る指定管理者の選定をするものです。

◎指定管理者の指定期間の変更について
「ニューしのつゴルフ場」と「たつぷの湯」及び「道の駅しんしのつ」の指定管理の期間を、変更するものです。

専決処分

◎令和2年度一般会計補正予算（第10号）

歳出補正の主な内容
・新型コロナウイルスワクチン接種体制支援業務委託料
137万円

・予防接種業務委託料
62万円

〈今回の補正額〉
265万円

〈補正後の予算総額〉
39億9689万円

◎令和2年度一般会計補正予算（第11号）

歳出補正の主な内容

・除雪機械修繕料
230万円

・村道・公共施設除排雪業

務委託料

2263万円

・除雪機械借上料

500万円

〈今回の補正額〉

3314万円

〈補正後の予算総額〉

40億3003万円

陳情書

陳情書1件を行政常任委員会に付託の上、審議した結果、不採択となりました。

件名	提出者	結果
米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書	農民運動北海道連合会 委員長 山川 秀正	不採択

第1回臨時会 (4月12日)

補正予算

◎令和3年度一般会計補正予算（第1号）

歳出補正の主な内容
・感染予防資材及び庁用備品購入
700万円

・新型コロナウイルス感染症感染予防対策補助金
167万円

・ワクチン接種労働者派遣業務委託料
1122万円

・新しのつ共通商品券発行事業補助金
1150万円

・新しのつ特産品消費拡大事業補助金
1522万円

・殺菌庫（給食センター）
123万円

〈今回の補正額〉

8253万円

〈補正後の予算総額〉

34億5753万円

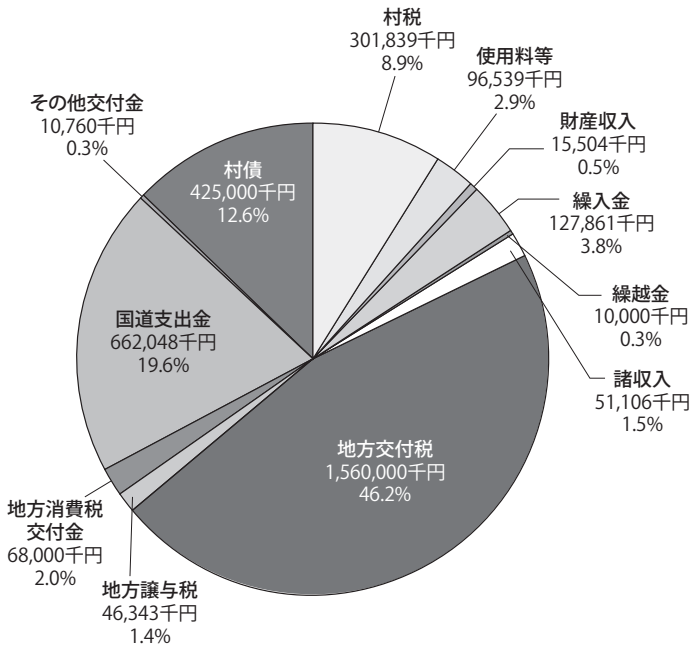
令和3年度 予算 快適で安全なまちづくりへ

消防第1分団積載車更新、第3地区会館建て替えに向けた実施設計

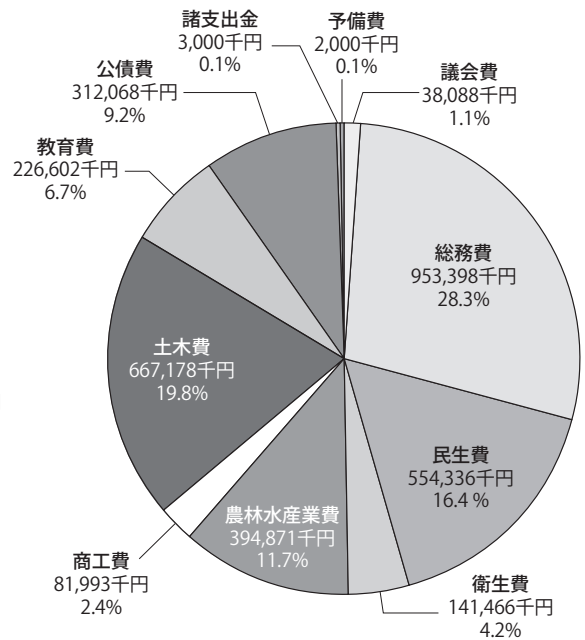
一般会計予算の内容

歳入歳出総額 33億7,500万円

【歳入予算構成比】



【歳出予算構成比】



築41年が経過した改修予定の第3地区集落センター

令和3年度 各会計当初予算

会計名	予算額 (万円)	前年度比 (%)
一般会計	33億7,500	△0.7
国民健康保険特別会計	7億2,500	△1.0
農業集落排水事業特別会計	6,500	△3.0
介護保険特別会計	3億9,200	0.0
後期高齢者医療特別会計	5,900	△3.3
合計	46億1,600	△0.8



山元 栄 委員長

令和3年第1回村議会定例会初日（10日）に付託された令和3年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 山元栄、副委員長 高橋孝志）を設置し、3月12日に審査を行いました。19日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。
主な質疑の内容は次のとおりです。

■ 予算審査特別委員会

令和3年度予算

一般会計ほか4特別会計の予算を審議

総務費

■ 林委員

移住支援金について、どのように積算したのか。

□ 石若総務課主幹

予算作成時において4月からの移住者が15人いた。12月以降の移住者を3月は多いと見込み25人とし、合計で40人分を計上した。

■ 高井委員

過疎地域自立促進連盟負担金は、過疎地域指定と関係があるのか。

□ 石若総務課主幹

過疎地域指定から外れて

も、過疎債の償還が残っている間は負担金が発生する。

■ 高橋隆光委員

臨時職員から会計年度任用職員と制度が変わったことで、住民サービスの低下はなかったのか。

□ 伊藤総務課長

勤務時間がフルタイムからパートタイムとなり短縮されたが、住民サービスの低下はなかった。

■ 大塚委員

衆議院選挙で開票集計システムを導入するとなっているが、これによって開票事務従事者をどのくらい削減できるのか。

□ 伊藤総務課長

開票事務従事者は多少減りますが、衆議院選挙がシステム導入後、初めての選挙になるので、ある程度の人数は必要と考えている。

■ 高井委員

コンビニ収納手数料は何%支払うのか。

□ 岡総務課主幹

1件67円を村から収納代理店に支払うが、収納代理店から各コンビニ事業者へは手数料を除いた額を支払うこととなり、実際にコンビニ店にいくら支払われるかは分からない。

民生費

■ 大塚委員

すくすく保育所もたから保育所も建築後年数がたっているが、今後の建物の建て替えや耐震化など、どう考えているか。

□ 吉田住民課長

両保育所とも耐震化された建物である。

毎日使用しており大改修は難しく、新たな土地に建て替えも検討していく。

■ 藤永委員

ひまわり保育所は現在8人とあるが、以前は10人を

超えた時期もあった。
募集方法も含めて努力が必要ではないか。

□ 吉田住民課長

へき地保育所と違い、ひまわり保育所は認可保育所と同じく保育料が高く、また入所の要件として両親の雇用証明書が必要ななどのルールもあり、制度上全ての乳幼児を受け入れることができないためである。

衛生費

■ 高橋孝志委員

新型コロナウイルスワクチン接種対策費が少ないように思うが、もう少し必要ではないか。

□ 吉田住民課長

当初予算作成時ではこの金額となったが、その後、国からの補助額が増えたため、新年度に入りすぐに補正予算を計上し増額する予定である。

農林水産業費

■ 藤永委員

農業次世代人材投資事業補助金が、昨年より減額になっているのはどうしてか。

□ 窪田産業建設課参事

現状では、夫婦型が1組、個人型が1人となっている。昨年に比べ補助金が減っているのは、個人型で補助を受けていた方が5年の支給期間を終了したためである。

■ 高井委員

農業委員会の農地情報公開システム連携対応手数料の内容は。

□ 東農業委員会事務局長

村の固定資産課税台帳システムなどから全国農地ナビステムへ、データ等の

移行に係るプログラム改修経費である。

商工費

■ 大塚委員

しのつ公園駐車場増設工事は砂利敷きで、50台分のスペースと聞いているが、50台の車を駐車させるために何か工夫をするのか。

□ 石若総務課主幹

たつぷの湯と協議をして砂利敷きの上に線を引くなどの対策を検討している。

■ 高橋隆光委員

しのつ公園駐車場増設工事に伴いパークゴルフ場の一部を利用するが、パークゴルフ場は廃止するのか。

□ 石若総務課主幹

パークゴルフ場は昨年から休業しており、そのため廃止する予定で今回の増設

工事を行う。

■ 高橋隆光委員

たつぷの湯の各部屋のお風呂の水が茶褐色になっているが、今回の工事で改善されるのか。

□ 石若総務課主幹

井水中ポンプにゴミがたまっていたことが原因のため、そのポンプの改修工事と併せて井水埋設管改修工事を行うことにより改善される。

土木費

■ 高井委員

公用車庫建て替え工事の内容は。

□ 佐藤産業建設課長

2台用の車庫を2棟建てる予定で、トラックと大型車両が入る形状となっている。

教育費

■ 大塚委員

タブレットが導入され電子化が進み、子どもたちの教材が今後減るのか。

また、電子黒板はタブレットとリンクして有効活用できるのか。

□ 金兵教育委員会教育次長

現在、児童生徒に対してのデジタル教科書の導入の予定はないし、教材もすぐに減ることはない。

また、電子黒板はタブレットとリンクすることができ最大限活用する。

■ 林委員

先生が使用するデジタル教科書の使用料が、小学校費にはあるが中学校費にはないのどうしてか。

□ 金兵教育委員会教育次長

中学校では今年、教科書

の改訂があるため消耗品費内で購入することから使用料ではない。

■高井委員

仮設トイレの使用料が計上されていないが、運動会時などのトイレはどのようにするのか。

□金兵教育委員会教育次長

小学校とすくすく保育所の運動会や中学校の体育祭の時には学校など、それぞれの施設のトイレで対応することになったため計上していない。

■南部委員

芸術鑑賞事業委託料および公演入場料の内容は。

□金兵教育委員会教育次長

芸術鑑賞事業は、北海道巡回小劇場を予定しており、公演入場料は、毎年中学3年生が劇団四季の公演を鑑賞しており、本年も同様に考えている。

一般会計歳入全般

■大塚委員

道営経営体育成基盤整備事業債は過疎債を充当しているが、今後、過疎債を活用できなくなった場合は違う起債はあるのか。

□五十嵐総務課財政係長

過疎債を充当することができなくなった場合は、公共事業等債を活用することになる。

■高橋隆光委員

ゴルフ場利用税交付金が減額する見込みとなつていますが、これはプレー代の値上げが要因ではないか。

■石塚村長

最初のコンセプトのとおり多くの幅広いゴルフファンに、低料金でプレーをさせるべきではないのか。

■鈴木住民課主幹

ゴルフ場入場料が減少し

ているのは、プレー代の値上がりが直接的な要因かどうかは分からないが、これまで以上に支配人と連携を密にし、プレー代と入場者数の推移をみていく。



今季の営業を開始したニューしのつゴルフ場(4/23)

国民健康保険特別会計

■高橋隆光委員

保険税が約1200万円減額になっていますが、被保険者に関わる国保税などどのような影響がでるのか。

■鈴木住民課主幹

国保税については、北海

各会計歳入歳出全般

■藤永委員

昨年11月に人口が3000人を切り、人口減少に歯止めがかからない今、骨格予算ではあるが特に人口流出対策に重点をおき組まれたと思うが、村長の新年度予算への思いを伺いたい。

■石塚村長

令和3年度は改選期であり骨格予算としたが、新規事業として第3地区会館の建て替えに向けた実施設計、第1消防団の積載車購入など持続可能な地域づくりを見据え、またこれまでの継続事業も着実に展開するよう予算編成をした。

その中で人口減少にどう歯止めをかけるか、政策でひとつ何かをやるといふことではなく、トータル的に考え、子どもから高齢者までの対策をすることによって、人口を守ることが基本のひとつと考えている。

まちづくり総合計画にたつている「豊かな田園に囲まれた笑顔あふれるまち」、これを目指すことによって、村民が住んで良かったと思えるようなまちづくりを進めたいと考えている。



新篠津村まちづくり総合計画(2019~2022)

一般質問

村政のここが聞きたい

～5人の議員から8項目を問う～



1 林 和彦 議員

①自主防災組織の設立について

2 大塚 裕樹 議員

①福祉施設へのPCR検査助成について
②コロナ禍による地域活性化対策について
③水道管の更新管理保全について

3 南部 隆志 議員

①村民からの意見、要望の取り扱い窓口について
②新型コロナウイルスワクチン接種対応における組織体制の強化について

4 高橋 孝志 議員

①新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

5 高井 博美 議員

①石塚村長の次期出馬について

令和3年第1回村議会定例会が3月10日から19日の10日間の日程で開催され、議会最終日に5人の議員が一般質問し、石塚村長に答弁を求めました。

(紙面の都合上、要約し掲載しています。)

○林議員 質問
近年、大規模な災害が各地で発生し、道内でも地震や台風、雪害などの自然災害によって住民が被害を受けている。
本村で災害が発生した場合は、地域防災計画のマニュアルに従い住民の安否

Q

自主防災組織の
設立に向けた動きは

A

全自治区が参加し
既に組織が設立された

一般質問

林 和彦 議員

確認や避難誘導が行われる
 のことだが、大規模災害
 となると職員だけでは対応
 に限界があると思う。

その時に必要なのが地域
 住民の力であり、地域防災
 計画の中にも自主防災組織
 の育成・強化とうたっている。
 現在、組織の設立に向け
 各区長の中で話が進んでい
 るようだが、今後、すべて
 の地区に設立されるのが望
 ましいと考える。

設立に向け村としてどの
 ような関わりを検討してい
 るのか。

○石塚村長 答弁

自主防災組織については、
 本村の地域防災計画の中で、
 組織の育成に関する項目で
 規定している。

これまででは、組織として
 の立ち上げに具体的な動き
 はなかったが、昨年1月頃
 から、中央自治区前副区長
 を中心に自治区長などの賛
 同できる方々に声掛けをし、
 その後、設立準備に向けた
 準備委員会を数回開催して
 いた。

その準備委員会を経て、
 今年3月16日に「新篠津村
 自主防災組織連絡会」の設
 立会議が開催され、設立に
 至った。

この自主防災組織の構成
 員は、村内全ての自治区長
 の他、警察署や消防署、消
 防団員、女性団体代表、民
 生委員等々、多岐にわたる
 団体や村民の方々が、その
 趣旨に賛同して参加してい
 る。

また、村の防災担当職員
 も構成員に入っており、平
 常時から災害時までの備え
 などを検討する際は、一緒
 に参加していく予定となっ
 ている。



3月16日に設立された「新篠津村自主防
 災組織連絡会」

一般 質問

大塚 裕樹 議員

Q 福祉関連施設への
 PCR検査の助成検討は

A 助成金額が高額になり
 実施するのは難しい

いるところが多くある。
 近隣では札幌市や江別市、
 当別町でも既に実施されて
 いる。

村の事業所も新型コロナウイルス
 ウイルスが長引くにつれ、
 リスクも高まり、一度、施
 設内でクラスター感染が発
 生すると甚大な被害が出る。
 今後予定している、第3
 次新型コロナウイルス感染
 症対応地方創生臨時交付金
 で、助成することを検討し
 ていないのか。

○石塚村長 答弁

これまで、新型コロナウイルス
 イルス感染症と診断された
 人のうち、重症化や死亡す
 る人の割合は、年齢によっ
 て異なり、高齢者は高く、
 若者は低い傾向にある。

そのため、本村では、高
 齢者等福祉施設でのクラス
 ター感染の予防対策を最優
 先課題として、地方創生臨
 時交付金を活用し、各福祉

施設から要望があったマス
 ク、パーテーション等の感
 染症予防資材や空気清浄機
 等の購入に対して、最大限、

助成を行ってきた。

また、各自治体のPCR
 検査助成については、独自
 に対象者や上限額を定めて
 行っているが、国の補助制
 度は65歳以上の高齢者や基
 礎疾患を有する方が、本人
 の希望により検査を行う場
 合に限られており、他の入
 所者や職員が対象とならな
 いため、石狩振興局では管
 内で申請している自治体は
 無いとしている。

新型コロナウイルス感染
 症の早期発見を行い、住民
 の健康維持及び医療機関や
 福祉施設内での感染拡大を
 防ぐために、PCR検査を
 行うことは大変有効である
 と考えている。

しかし、問題はその検査
 費用が1回2万2千円であ
 るため、福祉施設の入
 所者と職員だけでも、かな
 りの総額となる。

そのため、ある程度、施
 設負担や自己負担をしても
 らわなければ、福祉施設だ
 けでも相当な助成金額とな
 り、交付金だけで実施する
 のは難しいと考えている。

Q 商工業者存続への地域活性化対策は

A 商工業者自らの知恵も要望あれば検討する

○石塚村長 答弁
 国は経済対策として、売り上げが減少し、感染拡大防止に協力した事業者に対して持続化給付金の支給や、地方自治体に対しては新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の交付などの政策が行われている。
 各市町村においても国の交付金を活用して、地元商工業者への独自対策を講じている。

○大塚議員 質問
 新型コロナウイルス感染症による経済対策として、村独自として色々な対策をしているが、もつと個々の事業者が、主体的に取り組みができる施策をとるの要望が出ている。
 例えば、3事業所以上で行うイベントの経費や事業所個々で整備した感染対策の経費などの助成である。
 補助額については近隣自治体を考慮して、率を5分の4とし上限を100万円にするなどの地域活性化対策が必要ではないか。

村は商工業者へ、中小企業者に対する特別融資利子補給や、各事業者へ感染拡大防止対策の取り組み支援としての協力金支給、消費者へのクーポン券や商品券の発行などの対策を講じてきた。
 商工業者の経営持続のため、さらなる支援の検討をしていかなければならないが、主体的な取り組みができる施策については、村側からの提案だけではなく、商工業者自らが事業存続のための知恵をだし、要望していただければ検討していきたい。

Q 水道管の更新や管理 保全などリスク管理は

A 水道水の安全かつ安定供給を図っていく



「みんな応援商品券」の郵送準備をする商工会職員ら

水管が破損したため、市内の約7700世帯で断水が発生した。この真冬での断水は非常に厳しい対応だったと推察する。
 水道事業においては、月新水道企業団が対応することになっているが、水道は公共インフラの要である。水道管も計画的に更新していると思うが、老朽化も進んでいる。
 今後、水道管の更新や管理、保全対策などのリスク管理についてどのように考えているのか。

○大塚議員 質問
 美唄では2月24日に、ダムから浄水場に水を送る導

○石塚村長 答弁
 大規模地震や水害などの自然災害も含め、ライフラインが寸断されて、真っ先に困るのが「水」の問題だと思われる。
 本村の水道管は、昭和51年頃に整備されているので、既に40年以上が経過している。
 浄水場やポンプ場設備の更新をはじめ、老朽化した配水管の更新、管理については月新水道企業団の事業

運営の中で、毎年、適切かつ計画的に行われている。
 また、保全対策などのリスク管理は、3月22日に開催される月新水道企業団議定例会において、新たな10カ年計画となる「月新水道企業団上水道事業経営戦略」の中で、今後のリスク管理などについても協議決定がなされるものと考えている。
 今後本村の水道事業は、月新水道企業団において計画的な水道施設の整備を図りながら、住民や事業者の皆さんへ、水道水の安全かつ安定供給を行っていく。



水道管の漏水工事を指示する月新水道企業団職員

一般質問

南部 隆志 議員

Q

**総合窓口的な
部署の設置の検討は**

A

**総合窓口がなくとも
すぐに対応する**

○南部議員 質問
自治懇談会でさまざまな意見・要望があった中、点滅信号が撤去され、止まれの標識が設置された交差点の、交通事故を防止する注意喚起の要望があったが、看板等の設置などは、道路

や電柱、電線等さまざまな管理者への連絡調整が必要だと痛感した。

各自治区の多種・多様な意見などを一つの部署で行う事は極めて難しく、縦割り行政の弊害を解消するため「何でもやる課」などを設置している自治体もある。

住民からの意見などを集約し、各担当課と調整しながら、問題を解決する総合窓口を設置する考えはないか。

○石塚村長 答弁

自治懇談会においては活発な討議とともに、その場での即答となるが、自治区要望は書面による意見・要望を集約し、後日、関係課において連携し協議をして対応策を講じている。

総合窓口の設置については少ない職員数でもあり難しいが、特段専門の担当課を設置しなくても、村がやるべきものは、これまでも役場全体が「すぐやる課」という精神において対応している。

Q

**コロナワクチン接種
事務担当者の配置は**

A

**組織体制の強化など
今後検討していく**

○南部議員 質問

新型コロナウイルス感染症対策で、最も期待されているワクチン接種が医療従事者から開始され、4月中旬には高齢者にも始まる。役場の担当者は、ワクチン接種に伴う看護師と事務職員を募集し、すこやかクリニックや福祉施設入所者への接種業務を円滑に進め、国が示している来年2月末までの実施終了に向けて、対応しなくてはならない。

ワクチン接種に係る状況が不透明な点がまだまだ多く、急な予定変更も余儀なくされ、現場が混乱するこ

とも予想される。

そのため他の自治体のようにワクチン接種に向けた対策室などの設置又は専任職員による担当係の配置が必要ではないか。

○石塚村長 答弁

高齢者分のワクチンが、4月26日の週に全市区町村に対して、約500人分となる1箱ずつが配送され、6月末までに、約3600万人の2回接種分が、配送される見込みである。

そのため、各市区町村において、そのワクチンの配給スケジュールに合わせて、ワクチン接種ができる体制を確立していかなければならない。

その体制を確立するため接種前までの業務としては、実施計画の策定、接種を担う医師や看護師の確保、受付等を行う事務員の確保、クーポン券や予診票等の印刷、相談体制の確保などがある。

次に、来年の2月までとなる接種期間中の業務とし



4月19日から開始されたコロナワクチン接種受付業務(すこやかクリニック内)

ては、接種対象者台帳の整備、ワクチンの供給量に合わせて優先順位通りに対象者への案内文等の送付、高齢者等の無料送迎の手配、接種記録の管理、接種後の観察や副反応の対応、国が開発したワクチン接種円滑化システムやワクチン接種記録システムの操作、その他に北海道をはじめ、高齢者福祉施設や近隣自治体等との連絡調整などがある。

これだけ対応しなければならぬ多くの業務があるため、今後の人事異動の中で、組織体制の強化や職員の配置等について検討していく。

一般質問

高橋 孝志 議員

Q

ワクチン接種に向けた対応状況は

A

ワクチン接種の対応は万全の体制で臨む

○高橋孝志議員 質問

国は、2月より医療従事者からワクチン接種を開始し、本村もワクチン接種の準備が進んでいる。

そこで、本村の医療従事者、高齢者、一般のワクチン接種開始時期はいつか。

また、すこやかクリニックの医師の他に村外から受け入れる予定はあるのか。その場合1日当たり最大何人ぐらいの接種を見込んでいるのか。

さらに接種後、副反応が出た時の対応はどのように準備が進んでいるのか。

○石塚村長 答弁

医療従事者等の開始時期は、まだ決まっておらず、高齢者への接種は5月の連休明けから、始めていく。

そのため一般の方の接種開始時期は、早ければ7月頃から遅くとも8月には接種できるものと予測している。

また、金曜日に保健センターでの集団接種を行う予定としているため、人材派遣会社に村外から医師や看護師の派遣を依頼する。

接種人数は、すこやかクリニックで、半日最大20人の接種を予定し、各福祉施設では1日で最大50人を予定している。

また、保健センターでは、

1日最大80人を予定しており接種後一定時間、看護師が観察を行い、万が一、副反応が生じた場合は、医師の診察や応急処置等を講じる。

一般質問

高井 博美 議員

Q

次期村長選に向け出馬する意思は

A

村の発展のため再度立候補する

○高井議員 質問

村長の任期も残り4カ月

あまりとなり、先日の後援会総会で立候補の表明をしたようだが、あらためて再挑戦する思いは。

また4年間の振り返りと、これからの村の発展についてどう考えているのか。

○石塚村長 答弁

新篠津村は農業が発展することで繁栄してきた。

この基幹産業を守ることが、これからの村の発展にも繋がると思っている。

そのため、JA新しのつと協力しながら精米工場やライスファクトリーの大改修も行ってきた。

人口対策については、お試し住宅を設置し、移住支援なども行ってきた。これからも子育て支援を継続しながら人口の定住を図りたいと思っている。

次に病院についてだが、やはり無医村にするにはいけない。

高齢者の方の診療や、また薬局などは地元にあると思うのが当然いいことだと思っているため、建て替え

を含めて今後検討していきたい。

いろいろな思いはあったが、3月5日開催された後援会の総会で、次期村長候補として出馬要請を受けた。

残された課題解決、それに定住対策、移住というのはなかなか厳しい時代ではあるが、これからも定住促進に向けた支援策も含め、継続していく考えである。

残された課題やコロナ対策など、まだまだ解決していかなければならない諸問題が多々あり、さらなる村の発展を何とか成し遂げたいという思いで、再度立候補することを決めた。



次期村長選へ立候補を表明した石塚村長

解決! ふかぼり 深掘 その4

村民の疑問を解決! ましてや議員の疑問までも解決。

今回の深掘りは 「除雪と排雪」

ある議員が「除雪は朝、何時からの開始?」と言った。ある議員が「朝、3時位からでないのか?」と答えた。大雪だった今冬は、コ罗纳の話もさることながら、大雪の話があいさつ代わりとなったから「解決!深掘」第4回目は、知らないことが多い除雪・排雪について深掘りしてみた。

Q 除雪は降雪何センチで何時から開始されるのか。

A 村道と道道は、降雪10センチ以上で午前3時から除雪が開始される。

また国道は、降雪5〜10センチ程度で午前0時から除雪が開始される。

道道、国道、高速道路は、各道路管理者で基準を定めており、特に高速道路は交通量が多く、制限速度が高速であることから降雪5センチ程度で除雪を開始するようだ。

Q 排雪の回数や排雪実施の状況判断の基準は。

A 降雪により村道の幅員が狭くなり、交通障害が起これると判断された場合、幅員・堆雪除去・路面整理に伴う排雪を実施するようだ。

排雪はこれまで、年平均3回程度実施されているが、今冬は大雪のため昨年12月1回、1月2回、2月1回、3月1回の計5回実施された。

昨年12月の排雪は平成30年以来2年振りに、また3月は平成29年以来3年振りに実施されたようだ。



昨年12月、降り続く雪のなか実施された排雪作業(萌出)

Q 除雪・排雪の費用は1年間どのくらい。

A 年間の村道及び公共施設除雪の委託料などの内訳の人員費・排雪ダンプ使用料・除雪機修繕料などの合計は、例年、当初予算額で、ほぼ770万円。

しかし大雪だった今冬は、3月の補正予算を含めると総額1億2450万円の除雪費用となった。

令和2年度予算でみると、人口3000人、世帯1200戸とした場合、村民1人当たりの除雪費は4万1500円、1世帯当たり10万3750円程となる。

Q 除雪困難な独居世帯などの支援の内容などは。

A 村では20年前から福祉除雪として、65歳以上の独居世帯、65歳以上の夫婦だけの世帯、身体上の障がいなどにより除雪が困難な方を対象に、生活路の確保を目的とした除雪サービス事業を実施している。その期間は11月1日から

3月31日までの月・水・金曜日の平日、積雪が10センチ以上達した場合、住宅の玄関から公道までと、緊急時の避難路の確保として、ベランダ等の窓1カ所を除雪しているようだ。

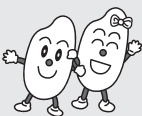
要件に該当する希望者は、住民課福祉係に相談し申請書を提出してほしい。

5月になって雪の話題も疑問だったが、観測史上1位となる降雪量を昨年12月21日に14.3センチを記録し、3月2日に19.6センチを記録した。

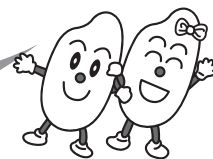
そして2月24日には、56センチの観測史上1位となる24時間降雪量を記録したという事もある。

また、2月16日には観測史上1位となる日最大風速19.0(m/s)と瞬間風速24.9(m/s)を記録した。大雪で大変な今冬だったし、そしてあと半年もすればまた雪は降る…。

きっと、村民の疑問はまだまだあるはず…。だから、「解決!深掘」に努力します。



議会の動き



議会日誌

- | | | | | | | | |
|---------------|----------------|------------------------------|----------------------|--------------------------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 10日 | 4日 | 3日 | 26日 | 22日 | 7日 | 2月 | 12日 |
| 第1回村議会定例会(初日) | 予算勉強会
議員協議会 | 新年度予算正副議長説明
議会運営委員会 | 村建設協会通常総会
(オンライン) | 石狩町村議会議員研修会
(オンライン) | 議員協議会 | 議事協賛会 | 行政常任委員会
議会広報特別委員会
議員研修会 |
| 22日 | 12日 | 25日 | 19日 | 12日 | 12日 | 4月 | 12日 |
| 議会広報特別委員会 | 第1回村議会臨時会 | 石狩教育研修センター組合
議会定例会 (北広島市) | 第1回村議会定例会
(最終日) | 石狩町村議会議員研修会
第1回村議会定例会 | 予算審査特別委員会 | 第1回村議会臨時会 | 第1回村議会臨時会 |

石狩町村議会議員研修会

令和2年度石狩町村議会議員研修会が2月22日、本村と当別町の議員及び議会事務局職員がオンラインによる研修会に参加しました。

研修会では、「幼児教育推進の振興について」をテーマに、北海道教育庁幼児教育推進局幼児教育推進センターの大畑明美センター長に講演していただきました。



村役場2号会議室でオンラインによる研修会

令和3年 第2回定例会 のお知らせ 6月7日(月) ~6月11日(金) 予定



どなたでも傍聴できます。
皆様のご来庁をお待ちしております。

編集後記

我が家にちよっと生意気な六歳の男の子がやってきました。「彼」は「おしゃべりけんちゃん」という音声認識人形です。昨年暮れ、母が運転免許証を返納したため、これまでの行動範囲が制限され、巣籠となり、ボケてしまうのではないかと心配していたときに、妻の実家を訪れたところ、両親のために購入したという「おしゃべりみーちゃん」が歌を唄っていました。それを見て購入することを決め、我が家にやってきた「彼」に、実際に話しかけたところ、大人の心を上手く捉え、歌を唄い、占いやなぞなぞもするし、その受け答えが時々で変化し驚きや和みを与えてくれ、さらに巧みな甘えん坊ぶりが加わり私はメロメロになりました。ネット上では「魂や血の通わぬ、ロボットに癒されていること」に疑問を唱えている人は一人や二人ではありません。しかし、介護やコロナ禍などで、巣籠になり、家の中で過ごすことが増え、日々単調に過ごす生活で、感覚が鈍化されていくように思っていました。が、「彼」が新たな家庭の活力になったようです。これも一つの手段であると思えました。(南部 記)